

ナルク発展5ヵ年計画策定の基本的考え方(思い)

ナルク会長 野中孝泰

【はじめに】

・1994年4月、崇高な理念のもとナルクは誕生。以来、(故)高畑会長の人柄とリーダーシップ、そして何よりも多くの会員の皆さまに支えられて発展。おかげさまで昨年設立30周年を迎えることができた。これまでの30年に及ぶ活動の積み重ねにより、ナルクの社会的信頼は高いものとなっており、これまで献身的に取り組まれてきた会員の皆さまに心からの敬意と感謝を申し上げたい。

・一方で、会員の皆さまの高齢化による課題も表面化している。(故)神野会長の強い危機意識のもと、令和4(2022)年5月31日に開催の第27回定時総会にて、ナルクの永続的発展を目指し『ナルク発展プロジェクト』の立ち上げが確認された。以降、1年半に及ぶ論議の末、令和6(2024)年開催の第29回定時総会にてナルク発展プロジェクトから出された4つの提案が確認された。

・会長を拝命し一年が経過しようとしている。全ての拠点を巡回できたわけでないが、拠点巡回を通じて頂いた皆さんの声に共感を覚えるとともに、ナルク発展の原動力を感じた。『ナルク再生は必ずできる』そういう強い思いを持って、ナルク発展5ヵ年計画策定に対する思いを申し上げたい。

【基本的な考え方】

・ナルク再生のためには、頂いた4つの提案を具現化することと合わせ、社会に対する発信力の強化並びに新たな発想による取組みにも挑戦しなければならないと考える。『ナルク結成の目的』と『時間預託制度』という最大の特徴を活かし、時代の要請に応えていく必要がある。

・人口減少・超少子高齢社会、生産年齢人口が毎年減少する状況下、持続可能な日本社会の再構築は日本が抱える最も大きな課題の一つと言っても過言ではない。『社会保障制度の給付と負担』『非正規の雇用と処遇』『子育て・介護と仕事の両立』『エイジフリー社会 働き方』『生産性向上?雇用の維持・拡大、労使の協力・協議、成果の公正分配?』『日本の財政の健全化』などさまざまな課題の解決が必要である。

・これらの課題の解決に向けナルクだからこそできる取組みが多くあるように思う。そういう意味では、世代を超えた助け合いの場として、ナルクの存在意義を発揮すべき時代でもある。シニア世代の横の繋がりに加え、老壮青の縦の繋がり運動・活動を拡大していかなばならないと考えている。

・一人ひとりの会員、一つひとつの拠点の取組みによって成り立っているのがナルクである。各人、各拠点が抱える独自課題を克服すると共に、全員が共有して挑戦で

きる目標と具体的な取組みが必要である。ナルク創設当時に匹敵する決意のもと、みんなでつくり、みんなで実行する、そんな『ナルク発展5ヵ年計画』にしたい。

【ナルク発展5ヵ年計画 ～会員拡大と魅力向上～ の目的】

①ナルク発展に向けたフェーズチェンジ

- ・会員拡大と魅力向上へ

②プロジェクト提案内容の具現化

- ・4つの提言と本部機能の整理と強化

③新たな発想による、新たな取組みの挑戦

- ・老壮青参加型の取組み、団体加入、マスコミ対策、SNS活用によるナルク紹介、助成金・賛助会委員への積極的アプローチ

【2029年度の終わりに達成している目標】

- ・会員数 20,000人
- ・拠点数 100拠点

【具体的な取組み】

(1)仲間を増やす『ナルク』 ～新しい仲間づくりへの挑戦～

①新規会員拡大の取組み

- 紹介活動強化、連合・労福協との連携、団体加入の検討、マスコミ対策など

②既存会員の脱会防止に向けた取組み

- 何ができるのか？

③運営が厳しい拠点への支援

- 支援体制が組めないか？ 閉鎖後の会員対応など

④新たな拠点づくり

(2)会員の繋がりを深め合う『ナルク』

①会員どうしの繋がりを深め合う取組みの活性化(同好会活動やサロンなど)

②第2回ナルリンピック(2029年11月予定)

③ナルクウォーク(どこを歩くか？ 何を訴えるか？)

(3)信頼できる仲間だからこそ『ナルク』

①高齢会員の日常生活支援サービスの充実・強化

②子育て支援サービス(夫婦共働き世帯の子供の保育園・幼稚園の送り迎え)

(4) 地域から頼られる『ナルク』

① 地域事情に基づいた主体的な地域連携活動

→ 連合・労福協／公的機関、NPO、団体／学生

② 調査センターの強化・拡大

→ 新設、増員

(5) 財政健全化（赤字体質からの脱却）

① 赤字体質からの脱却に向けて取り組むべき課題の整理と対策

② 賛助会員、助成金、への積極的アプローチ

(6) 機能強化

① 風通しの良い組織運営（ガバナンスの強化）

・総会（1回／年）←理事会（2回／年）←常務理事会（12回／年） $\longleftrightarrow$ 地区連絡協議会（2回／年） $\longleftrightarrow$ 拠点運営委員会（12回／年） $\longleftrightarrow$ 会員

・5ヵ年計画を達成するために、PDCAをきちんと回す

② 発展推進チーム新設、『IT、WEB、SNS推進チーム』を優先して進める

・ナルク紹介活動の強化の視点で、SNS活用を図る